

上越教育大学『海外留学・研修』安全の手引き

平成29年4月24日

上越教育大学学生が協定校に短期留学及び海外研修プログラムをする場合において、留学する学生の安全を確保し、危機発生時に適切に対応するため、学生本人及び大学は、この手引きに従って行動するものとする。

学生の個人留学・海外研修について大学が指導を行う場合も、この手引きを準用する。

I. 出発前に行うべきこと

【短期留学】

〈学生本人〉

(1) 次の事柄について、情報を収集し、留学の準備を行うこと。

- ① 留学先、滞在施設の確認、入学許可書の取得
- ② パスポートの取得・有効期限の確認、留学先への入国・滞在手続の確認、ビザ（査証）の申請
- ③ 航空券の手配（旅行会社に事故や遅延時などの補償の有無を確認する。）
- ④ 保険の加入、保険の補償範囲の確認
（必ず出発前に加入手続を行うこと。疾病、傷害、死亡以外に救援者派遣、賠償責任の補償が必要。）
- ⑤ 留学先の生活情報、気候、安全情報の把握・確認
（治安、社会情勢、対日関係にも十分注意する。）
- ⑥ 留学先の衛生環境の確認（必要に応じ予防接種を行う。）
- ⑦ 健康状態の自己チェック、健康診断
（既往症がある場合は、必ず医師又は保健管理センターに相談すること。）
- ⑧ 留学中の現地連絡先、日本（家族、大学）との連絡手段の確認
- ⑨ 国際学生証（ISICカード）の取得（ただし、必要に応じて）
- ⑩ その他、荷物の送り先、持ち込み禁止品、日本からの送金などの確認

(2) 大学への提出

- ① 大学に、『海外渡航届』を提出する。（別紙1）
- ② 短期留学及び海外研修プログラムの『承諾書（家族・親権者）』を提出する。※参考1

【海外研修プログラム】

〈学生本人〉

(1) 研修先の情報を収集し、準備を行うこと。

- ① 研修先の、滞在施設の確認、入学許可書の取得（必要に応じて）
- ② パスポートの取得・有効期限の確認
- ③ 保険の加入、保険の補償範囲の確認

（必ず出発前に加入手続を行うこと。疾病、傷害、死亡以外に救援者派遣、賠償責任の補償が必要。）

- ④ 研修先の生活情報、気候、安全情報の把握・確認
(治安、社会情勢、対日関係にも十分注意する。)
 - ⑤ 研修先の衛生環境の確認 (必要に応じ予防接種を行う。)
 - ⑥ 健康状態の自己チェック、健康診断
(既往症がある場合は、必ず医師又は保健管理センターに相談すること。)
 - ⑦ 研修中の現地連絡先、引率者に報告する。
 - ⑧ 持ち込み禁止品、などの確認
- (2) 大学への提出
- ①大学 (国際交流チーム) に『参加申込書』を提出する。※参考2
 - ②短期留学及び海外研修プログラムの『承諾書 (家族・親権者)』を提出する。
※参考1

〈大学〉

- (1) 留学相談、オリエンテーションなどで、次の事項について指導・助言する。
 - ①事前準備において情報収集すべき内容とその方法
 - ②外国滞在中の一般的な注意事項、危険の存在と対処方法
 - ③文化、習俗、生活環境の相違などの把握
 - ④危険発生時の対応と大学等への連絡方法
 - ⑤留学計画についての指導教員への相談
- (2) 留学、休学等の修学上の手続についての指導を行う。
- (3) 『海外渡航届』を提出させる。(別紙1)
 - ①滞在先、連絡先、国内連絡先などを明記。
 - ②提出時に、保護者・家族の承諾書の有無等について確認する。
- (4) 親権者・家族の承諾書を提出させる。※参考1
- (5) 海外旅行保険など各種保険への加入を指導する。必要とされる補償内容を説明する。
- (6) 留学先の安全を確認する。(外務省海外安全ホームページなど)
 - ①海外危険情報 (治安状況など)
 - ②感染症危険情報、衛生・医療情報
- (7) 健康状態の確認
 - ①既往症の有無などを本人に確認する。
 - ②長期留学生に対しては健康診断を受診させる。
 - ③必要に応じ、指導教員や保健管理センター等に健康状況等を問い合わせる。
- (8) 必要に応じ、本学と留学受入先との間で、事前に受入れ体制、留学環境、連絡体制についての確認を行う。
- (9) 研修プログラムの引率者は、研修先との間で、受入れ体制、連絡体制について確認を行う。
- (10) 留学予定地に危険が発生したり、危険があらかじめ察知される場合は、その内容・度合に応じて、以下の対応策を講じる。
 - ① 受入れ先又は現地在外公館への問い合わせ、安全確認

- ② 留学の中止又は延期を指示・勧告

II. 海外留学中に行うべきこと

【短期留学】

〈学生本人〉

- (1) 留学先に到着後、速やかに、家族と大学に対し、住所、連絡先を伝えること。
- (2) 次のような場合は、家族及び大学に事前に連絡する。
 - ①留学計画に変更が生じた場合
 - ②滞在先住所、連絡先を変更する場合
 - ③長期又は遠距離の旅行に出かける場合
- (3) 短期留学生は毎月1回、大学（国際交流チーム）に近況報告書（別紙2）を提出する。
- (4) 外国滞在中の安全確保、危機回避のため、次の事項に注意すること。
 - ①留学先における危機管理体制、医療体制、相談窓口等を把握すること。
 - ②家族及び大学に、緊急時等の連絡方法・連絡先を伝えること。
 - ③留学受入れ先の担当者に、緊急時等の連絡方法・連絡先を伝えること。
 - ④長期間（3か月以上）滞在の場合、現地の在外公館（日本国大使館・領事館）に在留届を提出する。また、在外公館への連絡方法を確認しておくこと。
 - ⑤滞在先現地での安全情報に常に留意すること。（在外公館ホームページなどによる情報収集）
 - ⑥滞在国での法律を遵守し、公序良俗に反する行為はしないこと。
 - ⑦外出時には、自分の身分を証明するもの、パスポート、緊急時の連絡先（受入先や住所）のメモなどを常に携帯すること。
 - ⑧保険会社等の現地連絡先を確認すること。
 - ⑨危険回避のため、自動車等の運転は原則として行わないこと。
- (5) 留学中の安全に関し、大学から指示があった場合には、必ず従うこと。
- (6) 留学を終了し帰国する場合は、帰国の旅行計画を事前に家族及び大学に連絡すること。また、日本に到着したときも、速やかに家族と大学に連絡すること。
- (7) 学生は危機管理のため、常に非常口を確認すること。

〈海外研修プログラム引率者〉

- (1) 滞在・宿泊先の変更や訪問日程の大きな変更があった場合は、大学に連絡する。
- (2) 航空便の都合や気象状況等により、帰国便を変更することになった場合、帰国日が延期になる場合は、大学に連絡する。大学は保護者に連絡する。
- (3) 非常時の連絡方法等について、常に確認する。
- (4) 参加者名簿を常に携行する。
- (5) 個人行動の場合の注意、貴重品の管理、交通安全、防犯、安全管理、非常口の確認、集合時刻
- (6) 門限の厳守などについて、常に注意を喚起する。
単独行動、夜間の外出、生水や食物に関する注意、防虫、野生動物、紫外線への注意

- (7) 滞在中の健康状況への目配り、チェック
- (8) 引率者は、危機管理のため、常に非常口を確認すること。参加学生に確認させる。
- (9) 海外研修プログラム先に危険が生じていると判断されるときは、その危険の程度に応じ、注意喚起や研修プログラムの中止・帰国勧告などの措置を講じる。

〈大学〉

- (1) 留学生及び海外研修プログラム研修の引率者と社会状況（治安、自然災害、感染症など）に常に留意し、情報を把握する。必要に応じ、学生に連絡し、注意を喚起する。
- (2) 学生本人及び海外研修プログラム研修の引率者と定期的に連絡をとり、健康状況、修学状況、生活状況の把握に努め、助言を与える。
- (3) 留学先及び海外研修プログラム研修の引率者における安全確保や連絡手段について、学生本人に確認する。
- (4) 留学先及び海外研修プログラム先に危険が生じていると判断されるときは、その度合に応じて、注意喚起や留学の中止・帰国を指示するなどの措置を講じる。
- (5) 協定校と連携をし、情報の収集に努める。
- (6) 学生の健康状態の悪化（病気、ケガなど）、又は留学先への不適應により、海外研修プログラムの継続が困難と認められる場合は、引率者と連絡し、研修学生の家族と相談の上、研修の中止・帰国を促す。
- (7) 航空便の都合や気象状況等により、帰国便を変更することになった場合、帰国日が延期になる場合は、引率者から大学に連絡する。その際、大学は保護者に連絡する。
- (8) 海外研修プログラムの引率者については、別に定める。

Ⅲ. 危機発生時の対応について

〈学生本人〉

- (1) 留学受入れ先の緊急時担当者へ連絡し、その指示に従って行動すること。
- (2) 学生は、わかる範囲の情報を大学に報告する。
- (3) 日本（親権者・家族及び大学）に連絡し、状況を報告する。学生本人が連絡できない場合は、留学先担当者や在外公館に日本への連絡を依頼すること。
- (4) 大規模災害・事故発生時には、直接の危険がない場合でも、無事であることを連絡すること。
- (5) 必要に応じ、日本の在外公館に連絡し、危機への対応について相談の上、その指示に従うこと。
- (6) 保険適用の可能性のある損害が生じた場合は、保険会社に連絡すること。
- (7) 海外研修プログラムで引率者がいる場合には、引率者の指示に従い、個別に行動しない。

〈大学〉

- (1) 学生・引率者又は留学受入れ先・研修先からの連絡を受け、その危機の内容・度合に応じ、以下の対応策を講じる。
 - ①引率者・留学受入れ先や在外公館に対する情報収集、学生の保護・所在確認の依頼

- ②学生本人、留学先担当者又は親権者・家族と協議の上、留学の中止・帰国の指示又は勧告
- ③海外研修プログラム研修の引率者、研修先又は親権者・家族と協議の上、研修の中止・帰国の指示又は勧告
- ④学生の家族が渡航する場合の支援
- ⑤家族への同行など、本学職員の現地への派遣
- ⑥保険会社への連絡、手続
- ⑦引率者・学生に情報を提供する。

(2) 災害・事故等により、学生の救援が必要な場合（死亡、行方不明の場合を含む。）は、大学内に対策本部を設置し、各部署が役割分担に従って対応する。

- ①現地（留学先、研修先、在外公館等）との連絡、情報収集
- ②家族への対応
- ③現地派遣、現地対応
- ④文部科学省、外務省との連絡調整
- ⑤報道機関への対応
- ⑥渉外、各種手配

〈引率者〉

- ①大学の緊急連絡先へ連絡する。
- ②現地受け入れ機関の担当者や在外公館に日本への連絡を依頼する。
- ③大規模災害・事故発生時には、直接の危険がない場合でも、無事であることを連絡する。
- ④必要に応じ、日本の在外公館に連絡し、その指示に従う。
- ⑤保険適用の可能性のある損害が生じた場合には、保険会社に連絡する。

≪ 付記：海外留学に関する情報収集について ≫

- ①日本学生支援機構「海外留学支援サイト」
<http://ryugaku.jasso.go.jp/>
- ②外務省「海外安全ホームページ」
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>
- ③外務省「旅レジ」
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>
- ④厚生労働省検疫所「海外渡航者のための感染症情報」
<http://www.forth.go.jp/>

海外渡航届

年 月 日

上越教育大学長 殿

所 属
学 年
学籍番号
氏 名

下記により海外渡航しますので、届け出いたします。

記

渡航期間	年 月 日 ~ 年 月 日
渡航目的	
渡航目的国 経 由 国	
出 国	年 月 日
帰 国	年 月 日
滞 在 地 連 絡 先	
国内連絡先	住 所 氏 名 電話番号 本人との関係
指導教員等	印

近況報告書

氏名 _____

年 月 日現在

現住所	<p>_____</p> <p>1. 大学寮 2. アパート 3. その他（具体的に _____）</p> <p>TEL _____</p>
連絡先 （確実に連絡の 取れる場所）	<p>_____</p> <p>住所 _____</p> <p>TEL _____ Fax _____ email _____</p>
健康状況	<p>現在の健康状態： 1. 良好 2. 普通 3. 不良</p> <p>不良の場合 1. 1日以上入院を要する病気・怪我をした 病名 _____ 現在の状況 _____</p> <p>2. 2回以上通院した 病名 _____ 現在の状況 _____</p>
学業の状況 （大学の授業等）	
生活全般の状況 （旅行、衣・食 ・住等）	
その他 （困ったこと等）	
上越教育大学 への連絡事項	

注）この報告書は、毎月1度、上越教育大学研究連携課国際交流チーム宛提出してください。

上越教育大学長 殿

平成 年度 海外教育（特別）（実践）研究〇（ ）
参加確認・承諾書

上越教育大学が実施する平成 29 年度「海外教育（特別）（実践）研究〇」（〇〇（国名）・〇〇校等での実習及び文化研修）への参加に当たり，事前の体調等の自己管理に努めるとともに，現地実習ならびに文化研修にあたっては，受け入れ校に迷惑をかけないこと及び文化研修中の行動に十分な注意を払うことを約束いたします。

研修参加学生の氏名

(日付：平成 年 月 日) 印

上記の者が，〇〇（国名）・〇〇校等での実習及び文化研修に参加することを承諾するとともに，参加にかかる経費の負担及び参加中の本人の不注意による賠償等一切の責任を負うことを約束します。

親権者または家族の氏名

(日付：平成 年 月 日) 印

緊急連絡先

住所： _____

氏名： _____

参加学生との関係： _____

TEL： _____

※提出期限：平成 年 月 日（ ） / 提出先：国際交流推進センター

平成 年度海外教育（特別）（実践）研究〇「 」参加申込書

平成 年 月 日

私は、平成 年度海外教育（特別）（実践）研究〇「 」に参加したいので申し込みます。

なお、申し込みにあたっては、保護者等の承諾を得ていること申し添えます。

氏 名： _____ 性別 男 ・ 女

ローマ字： _____

所 属： 学 部 _____ 専修 _____ コース

大学院 _____ 専攻 _____ コース

※現職の場合：学校種類 小・中・高 担当教科（ ）

学籍番号： _____ 学 年： _____

生年月日： (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日, 年齢 _____ 歳

現住所： _____

電話番号（携帯電話）： _____

E-mail：（※携帯メール可） _____

パスポートの有無： 有 ・ 無

※パスポートを取得している場合、顔写真のあるページの写しを添付してください。

また、現在申請中の方は、受領予定日を記入してください。（受領予定日： _____ 月 _____ 日）

趣味や関心領域：

アレルギー： 有 ・ 無

ペットに好き嫌い： 有（好きなペット） ・ 無（ペットアレルギー 有 ・ 無）

※参考までに次のことについてお答えください。

1 海外旅行の経験及び旅行先：回数（ _____ 回） 旅行先（ _____ ）

2 自分の「英会話力」について（該当するものに○を付してください。）

①専門用語を使った会話ができる。 ②日常会話ができる。 ③あまりできない。

④全くできない。

3 取得している英語の資格（英検, TOEIC, TOEFL など）

_____ (取得年月日： _____)

4 志望動機

※ 参加希望者は〇月〇〇日（ ）までに研究連携課国際交流チームまで提出して下さい。